

三八地労連

第54回評議員会議案

日時 2014年2月26日(水)18:30～20:30

会場 八戸市福祉公民館八戸市類家四丁目3番1号

次第

1. 開会あいさつ
2. 議長選出
3. 三八地労連議長あいさつ
4. 議事
 - ① 活動報告
 - ② 2014年春闘方針(案)について
 - ③ 2014年度暫定予算(案)について
 - ④ 2014年度役員の定数について
 - ⑤ 選挙管理委員の選出について
 - ⑥ 退職役員の資格について(規約の解釈または運用)
 - ⑦ その他
5. 議案採決
6. 議長退任
7. 閉会あいさつ

評議員数

年金者組合 4・県教組 2・高教組 2・日赤労組 1・全医労 1・八医労 2・青銀労組 1
建交労鉄道 1・全港建 1・全法務 1・全司法 1・全労働職安 2・全労働基準 1
国土交通東北運輸海運 1・国土交通東北運輸陸運 1・東北ビル従組 1・通信労組八戸 1
社会福祉事業団労組 1・郵政産業ユニオン 1・建交労近鉄物流 0 計 26人

評議員の選出基準(新基準)

三八地労連規約第5章の第16条の第2項に基づき、評議員の選出基準を以下の通り定める。

1. 登録組合員数 1人～25人は1名、26人～50人は2名、以下50人増えるごとに1名増加。但し、1人～49人の端数分は切り上げをして1名追加する。

三八地労連(三八地方労働組合総連合)

八戸市柏崎一丁目10-34 ☎・Fax 0178-47-8886

【経過日誌】

- 6/24(月) 消費税街宣 7 人 26 筆、生存権裁判街宣、7 人■■■筆、幹事会⑫(4 人)
- 6/25(火) ゆき…幹事会(新潟)、県原水協常任理事会(新潟)
- 7/ 6(土) 地労連定期大会(代議員 18、選管 1、来賓 2、委任状 9 組合 9 人+1 人)、6・9 行動、7 人 38 筆
- 7/ 7(日) はちのへ九条の会講演会(小森陽一)、103 人
- 7/10(水) 八戸原水爆禁止の会理事会(新潟)
- 7/11(木) 地労連ニュース№.133 発行、「渡されたバトン～さよなら原発」上映会(入場者 505 人)
- 7/13(土) 県労連幹事会(山田)、全労連共済支部総会(年金者組合三八)
- 7/15(月) 年金者組合移転作業(9 人)、地労連ニュース№.133 改訂版(年金者組合、県教組用)印刷
- 7/19(金) 医療生協・八医労世界大会学習会(4 人)
- 7/22(月) 高齢者運動連絡会(新潟)、年金者組合支部ニュース発行
- 7/23(火) 幹事会①(5 人)、原爆写真展チラシの折込(新潟)
- 7/24(水) ゆきとどいた教育…幹事会(新潟/7 人) ※ 9/21 懇談会、10/19 講演会
- 7/25(木) 原水禁賛助要請(内田、新潟 7 社・4 万円)
- 7/26(金) 原水禁賛助要請(7 社・個人 3.3 万円)
- 7/29(月) 年金者組合県女性部交流会(三八 17+1、青森 10、弘前 11、計 38 人+1)
京都府と京丹後市に「米軍基地設置を受け入れないよう求めます」Fax 送信
- 8/ 2(金) 世界大会壮行会(みなみいけの家主催ー坂本さんの職場)
- 8/ 3(土) 県労連幹事会(山田)、公契約運動学習会
- 8/ 4(日) 朝市署名、9 人 170 筆(中屋敷、中川原、中道、新潟、新婦人 5)、600 円
- 8/ 8(木) ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」展(58 人+子 3 人)
- 8/ 9(金) ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」展(105 人+子 9 人)
ナガサキの日行動、19 人(医療生協 14、新婦人 3、県教組、事務局)22 筆
- 8/10(土) ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」展(66 人+子 7 人)
※三日間で、264 人(229+子 19+主催 15+取材 1)、48 筆 10,302 円
郵政産業ユニオン東北地本定期大会(山田-県労連を代表)
- 8/11(日) 朝市署名、11 人 184 筆
- 8/18(日) 朝市署名、5 人 93 筆(中屋敷、新潟、新婦人 3)
- 8/22(木) 高齢者運動三八地区連絡会(新潟)、年金者一揆実行委員会準備会(新潟)、幹事会②(5 人)
- 8/24(土) 県労連定期大会(新潟、山田-幹事、田村・寅谷-高教組、出貝-医労連)
- 8/25(日) 青森生存権裁判を支援する八戸地区連絡会総会、35 人(新潟、大浦)
- 8/26(月) 消費税街宣、11 人 50 筆、青森生存権裁判街宣、8 人 37 筆
- 8/27(火) 世界大会報告会、42 人
- 8/28(水) ゆきとどいた…幹事会(新潟)
- 8/30(金) 年金削減反対署名(年金者組合)、8 人 50 筆
- 9/ 6(金) 6・9 行動、8 人(県教組、年金 2、医療 4、事務局)39 筆(内県教組 13、年金者組合 9)、1500 円
- 9/ 8(日) 青森生存権裁判を支援する会 BBQ 交流会、124 人(内原告 5、こども 7、運転手 2) 三八から 44
- 9/14(土) 三沢平和学習会、25 人(三八から 3 人ー新潟)
- 9/15(日) 三八母親大会、75 人(新潟)
- 9/16(月) 県労連幹事会①(山田)
- 9/18(水) 健康まつり実行委員会(新潟)
- 9/19(木) 消費税街宣、4 人 103 筆、ゆきとどいた教育…幹事会(新潟)
- 9/21(土) 教育なんでも懇談会、14 人
- 9/22~23 福島のかげを聞く会(核燃立地反対連絡会議主催)、25 人ー新潟・個人参加
- 9/24(火) 幹事会③(4 人)
- 9/25(水) 年金者一揆実行委員会(新潟)、なくせ！原発・核燃三八連絡会(新潟、11 団体・11 人、田中)

9/26(木) 全労災署名(17 組合)→全労災青森支部へ、県原水協常任理事会(新潟、内田－ 16 人)
 9/29(日) 八戸医療生協健康まつり
 (新潟、中村-教育署名 97 筆、年金者 4 人 173 筆、消費税 56 筆、核兵器 36 筆)
 10/ 2(水) 日曜版折込(11.2 ふくしま集会チラシ、新潟)
 10/ 6(日) 教育充実・朝市署名、4 人 57 筆
 10/ 8(火) 年金署名、4 人 52 筆(年金者組合)
 10/ 9(水) 青森県高齢者大会(新潟)、380 人 ※三八 32 上十三 16、バス内福島署名 43 筆
 自治体要望書検討会(4 人)
 10/12(土) 県労連幹事会②(山田)
 10/13(日) 核燃・原発ゼロあおもり集会(200 人、三八から 3-山田、新潟、矢代)
 10/15(火) ゆきとどいた教育…幹事会(新潟)
 10/16(水) 年金者一揆三八行動(33 人、新潟、苫米地-県教組)、レク担当打ち合わせ(5 人)
 10/17(木) キャラバン事前学習会(新潟)
 10/19(土) 県労連組織拡大交流集会(新潟)
 10/20(日) 教育充実・朝市署名、3 人 30 筆(ゆきとどいた教育)、秋のレク・間木ノ平グリーンパーク(11 人)
 10/22(火) 年金者組合うたごえ喫茶(160 人)
 10/23(水) なくせ！原発・核燃三八連絡会拡大事務局会議(新潟)
 10/24(木) 地労連幹事会④(4 人)
 10/27(日) 教育講演会(19 人)
 10/28(月) 消費税街宣(6 人 30 筆)、生存権街宣(6 人 17 筆)、年金者一揆実行委員会(欠)
 10/30(水) 社保協自治体キャラバン・三八地区①ー階上(町 6、社 11 人)、南部(町 6、社 11 人-立花町議)
 10/31(木) 社保協自治体キャラバン・三八地区②
 五戸(町 7、社 14)、新郷(村 7-村長、社 12)、三戸(町 5、社 12)、田子(町 2、社 12)
 11/ 2(土) ふくしま大集会(上十三 6 三八 37+1)、130 筆提出 ※地労、青銀、県教、事業団、年金 3
 11/2~3 あおもり教育のつどい(～ 11/3、むつ市)
 11/ 5(火) 全労連憲法キャラバン青森②行動(新潟) ※十和田市、三沢市、八戸市
 11/ 9(土) 県労連幹事会③(山田)
 6・9 行動(9 人 29 筆) ※秘密保護法反対署名 13 筆
 11/11(月) 年金者組合第 1 回支部委員会(23 人、新潟) ※審査請求運動の進め方で激論
 11/12(火) 社保協自治体キャラバン三八③、八戸市(市 17、社 24)
 11/13(水) ゆき…幹事会(新潟)
 11/19(火) 地労連幹事会⑤(4 人)
 11/20(水) 秘密保護法反対共同相談会、9 団体・個人、11 人(中道、新潟)
 (「STOP！秘密保護法 共同行動 in 八戸」として行動、連絡先；地労連とデーリー東北労組)
 11/21(木) 12.1(申請、チラシ印刷、JR 東労組・社民党・平和推進労組に申入書)
 11/23(土) 12.1 よびかけ(うみねこ、私教連、高橋、科学者会議、あけぼの、自治労連南部、退教協、若竹、全労災)
 11/25(月) 県原水協常任理事会(新潟) ※全医労等の署名提出
 消費税街宣・署名(6 人 42 筆)、青森生存権裁判支援街宣・署名
 11/28(木) 秘密保護法反対街宣・署名、17 人 24 筆
 11/29(金) 秘密保護法反対街宣・署名、14 人 47 筆
 12/ 1(日) 秘密保護法反対共同集会&デモ
 22 団体 121 人(地労連 22-年金 10、青銀 4、県教 3、全医、労働、東北ビル、八医労、事業団)
 12/ 3(火) 自治体要望書提出
 12/ 6(金) 秘密保護法反対街宣・署名 14 人 38 筆(内新婦人 21 筆)、6・9 行動 5 人 17 筆(内新婦人 11 筆)
 12/ 7(土) 救援会八戸支部定期大会(来賓挨拶・新潟) ※福島・22 筆
 12/ 9(月) 高齢者運動三八連絡会(新潟) ※秘・21 筆送付

12/10(火) 科学者会議八戸分会例会&忘年会(新潟・福島の叫びを聞く会の報告)
 12/11(水) ゆきとどいた教育…幹事会(新潟)
 12/13(金) 夏堀茂さんの葬儀(新潟・代表焼香)、年金者組合・不服審査請求を成功させる集会(20人)
 12/14(土) 県労連幹事会④(山田)、県労連評議員会(山田、新潟) ※署名提出:TPP6、汚染水 22
 12/15(日) 八戸生健会忘年会(新潟)ー署名;汚染水 50 筆、核兵器 30 筆
 12/17(火) 労金「ふれ愛定期預金フィル」寄付金贈呈(労金、連合、地労連-新潟)
 12/19(木) 地労連幹事会⑥(4人)&忘年会
 12/25(水) 消費税街宣(9人 45 筆)、映画「ひまわり」上映実行委員会準備会(不参加)
 12/26(木) 階上町教育長懇談(ゆきとどいた教育)、町 3 人会 7 人(新潟)
 12/27(金) 地労連掃除、カレンダー集金(民商 5)、1.10 連絡会案内
 1/ 6(月) 6・9 行動(5人 18 筆)
 1/ 8(水) 全国いっせい新春街宣(4人 100 枚・ティッシュ) ※全医労、八医労、山田、新潟
 1/10(金) 県労連・東青労連合同旗びらき(山田)、なくせ！原発・核燃三八連絡会(11人 11 団体ー新潟)
 1/11(土) 県労連幹事会⑤(山田)
 1/14(火) 地労連幹事会⑦(4人)
 1/17(金) 地労連旗びらき(45人ー組合員 27 人、来賓・友誼団体 18 人) ※生存権署名 19、汚染水 14
 1/24(金) 消費税街宣(7人 35 筆)、市教委懇談(ゆきとどいた教育…三八の会)
 1/25(土) 八戸医療生協創立 23 周年記念講演会・馬場有浪江町長(300 人)
 1/28(火) なくせ！原発・核燃三八連絡会、9 団体 9 人
 1/30(木) 自治体要望書回答書
 1/31(金) 年金者組合・行政不服審査請求全国いっせい行動(23 人)、3.8 チラシ印刷
 2/ 3(月) 国際女性デー実行委員会(新潟)
 2/ 5(木) 年金者組合新春の集い(72 人)、3.8 集会チラシの赤旗日曜版折り込み(新潟)
 2/ 7(金) 重税反対八戸集会実行委員会(新潟)
 2/ 8(土) 県労連幹事会(山田)
 2/ 9(日) 6・9 行動(4 人)
 2/13(木) 幹事会⑧(5 人)
 2/14(金) 高齢者運動三八連絡会(新潟)
 2/15(土) 源新明講演会(秘密保護法)-はちのへ九条の会(75 人)
 2/16(日) ボウリング大会(12 人)、日本共産党三八地区新春のつどい(山田)
 2/19(水) 特定秘密保護法撤廃意見を求める請願・陳情(市議会、南部・三戸町議会-新潟)
 2/20(木) 県原水協第 1 回理事会、なくせ！原発・核燃三八連絡会事務局会議
 2/22(土) 14 春闘勝利決起集会
 2/26(水) 地労連評議員会
 金曜行動 6/28(有志主催)-13 人、7/5(有志主催)-11 人、7/12(有志主催)-13 人、7/19(PEACE LAND)、7/26-18 人
 8/ 9-15 人、8/16-11 人、8/23-12 人、8/30-18 人、9/6-16 人、9/13-17 人、9/20-9 人、9/27-14 人
 10/4-12 人、10/11-12 人(警察に制止されたためミニ集会だけ)、10/18-9 人、10/20-原発ゼロ日曜イベ
 ント(9 人)、10/25-9 人・雨天中止、11/ 1-12 人、11/8-13 人、11/15-18 人+α、11/22-8 人
 11/29-11 人、12/6-12 人、12/13-10 人、12/22-原発ゼロ日曜イベント(9 人)、12/27-14 人
 1/10-10 人、1/17-10 人、1/24-15 人、1/26-原発ゼロ日曜イベント(■人)、1/31-25 人、2/7-11 人
 2/14-12 人、2/21-■人

【活動報告】

(1) 2013 年度定期大会

2013 年度定期大会は 7 月 6 日、長根のスポーツ研修センター研修室で開催されました。代議員 30 名中 18

名が出席・委任状 10 名、代議員を兼務しない選管 1 名、来賓 2 名が参加しました。参加組織数は委任状を含めて 17 組合でした。議長は年金者組合高橋さん、全労働職安分会の泉谷さんがつとめました。来賓の今県労連副議長は、日本を企業にとって世界で一番やりやすい国に変えようというのがアベノミクスだと断罪し、安倍政権のブレーンをつとめている人たちの自分勝手なやり方を糾弾しました。日本共産党の田端市会議員は、公務員賃金削減の問題や消費税増税、T P P について述べ、要求実現のために一緒にがんばりましょうとあいさつしました。

質疑・討論は一時間だけでしたが、なくせ！原発・核燃の取り組みや公務員賃金削減の問題、ゆきとどいた教育を考える三八の会として取り組んだ教育講演会(あおり教育のつどい記念講演・野口邦和氏)、無料低額診療のことと薬局への拡大について、地労連の中での年金者組合の位置をどう考えればいいのか、2012 年度会計決算書で生じた組合費の大幅減額は問題ではないか、組織拡大の対象としている組合は？等の発言、報告、質問が出されました。今県労連副議長からは、違憲訴訟を闘っている国家公務員労組の闘いを紹介し、地方公務員賃金削減の問題は地域の闘いでは勝てない、全国との連帯した闘いが必要だとの提起がありました。また、なくせ！原発・核燃の取り組みについては、八戸の地域集会を評価しつつも、県都に集中して行う意義も考えてほしいとの要請がありました。

(2) 原水禁運動一朝市署名、原爆と人間展、世界大会

- ① 八戸原水爆禁止の会は 8 月三度の館鼻岸壁朝市での署名に取り組みました。三日間で 4 4 7 筆の署名と 4, 3 5 1 円の被爆者援護募金が寄せられました。行動参加者は延べ 26 人でした。
- ② また、8 月 8 日～10 日の三日間、はっち 3 階のギャラリー 3 で、ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」展を開催しました。入場者は 2 5 0 人ほどで、熱心に写真を見、説明を読む方が多数いました。夏休みだったため子どもたち(小学生)がいつもより多かったのが特徴で、学校で先生から紹介されたという児童もいました(同行したお母さんの話)。子どもたちだけで来場し、説明をじっくりと読んで、会の活動がんばって下さいと感想を記入、募金もしていったグループがありました。三日間で 1 万円を超える被爆者援護募金と多くの核兵器廃絶署名が寄せられました。
- ③ 8 月 27 日、八戸原水爆禁止の会は八戸医療生協組合センターで原水爆禁止 2013 年世界大会報告会を開催、42 人が参加しました。

八戸医療生協から参加した坂本浩一さんは、原爆による被害の様子や放射線による人体への影響、戦績めぐり等を報告しました。「核兵器と原発」分科会での議論ー 2022 年までの全原発廃炉を進めるドイツからの報告や日本が原発輸出の条件として発生する使用済み核燃料を引き受けることにしていると指摘した湖西市・三上市長の発言ーを報告しました。多くの若い世代が参加した大会だったことを述べ、被曝 70 周年、N P T 再検討会議が開かれる 2015 年に向けて核兵器廃絶を求める巨大なうねりをつくりだそうとの閉会総会の熱意を伝えました。

青森県教組三八支部から参加した千葉久美子さんは、「映像の広場」分科会で見た「もうひとつのアメリカ史(原爆投下)」とオリバー・ストーン監督らのお話、閉会総会でのスピーチがとても印象に残ったと述べ、「終戦のために原爆は必要なかった、原爆投下が軍産複合体の始まり」と伝える映像であり、もっとみんなが見られる時間帯に地デジでも放映してほしいと語りました。

(3) 原発ゼロへ

① ふくしま大集会

11 月 2 日、ふくしま大集会が開催され、なくせ！原発・核燃三八連絡会からバス等で 40 人が参加、地労連からも、年金者組合、県教組、青銀労組、社会福祉事業団労組などから 7 人が参加しました。

集会には福島県内及び全国から 7000 人が参加、会場には地域と団体のテントが立ち並び(70 ブース)、困難でつらい状況が続く現状と解決への思いを語るイベントが行われました。物産・直売コーナーもたくさんあり、がんばる福島を感じました。集会では、首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさん、

日本共産党書記長市田忠義さん、浪江町議会議長小黒敬三さんがあいさつし、福島復興・除染、汚染水垂れ流しやめ、いまずぐ原発ゼロへと述べました。バスでは、学習やうたごえ、自己紹介や感想を述べあいながらすごし、充実した1日となりました。

② 3.8 全国いっせい行動

原発をなくす全国連絡会は「福島原発事故から三年 全国からのたたかいを集中し、原発再稼働への暴走を食い止めようー 3月8日、9日を中心に、全国で取り組みの具体化を呼びかけます」とのアピールを発表しました。なくせ！原発・核燃三八連絡会はこの呼びかけにこたえて、3月8日はちで、「原発ゼロへ 全国いっせい行動 in 八戸」に取り組んでいます。三八地労連は事務局担当でもあり、集会の成功を支えるために多くの参加が求められています。また、県労連が参加している「なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク」は3月9日、青森市文化会館で2000人規模の集会と県庁包囲を計画、三八地労連も参加が必要です。

(4) 特定秘密保護法

三八地労連は12月1日、デーリー東北労組や八戸医療生協、新婦人八戸支部など10団体とともに「STOP！秘密保護法 共同行動 in 八戸」に取り組みました。集会参加は、21団体121人でした。リレートークのみなさんのお話はとても力強く、特に源新明・県弁護士会長の発言は迫力がありました。三八地労連山田優一副議長も法案の危険性を指摘するトークを行いました。デモ行進と流れ解散時のシュプレヒコール&コールも熱気があり、成功だったと思います。

10団体はこの他に、3度の街頭宣伝・署名にも取り組みました。いずれも短期間の取り組みでしたが、臨時国会最終盤の重要な時期の行動であり、マスコミにも大きく報道されることで世論に訴えることができたと思います。職場からの闘いという点では不十分だったと思います。共同行動は12月で終わりましたが、全国では特定秘密保護法廃止の運動が広がっています。地域の取り組みの再構築も必要です。

(5) 待遇改善の取り組み

① 全医労

これまで全医労が長年にわたって本部女性部の交渉、賃金交渉で訴え続けてきた結果、4年ぶりに夜間看護等手当が上がりました。深夜勤務の手当てが今回の交渉で4200円に、準夜勤務の手当は3500円に、2交替は8600円になりました。賃上げが厳しい情勢の中で大きな成果でした。

② 八医労

年末一時金として賃金の2ヶ月分を要求しましたが回答は1ヶ月でした。「プラス一万円」を求めて再要求しましたが、「プラス一律五千円の支給」で妥結しました。

③ 県教組・高教組

臨時教職員の「空白の一日」問題に前進がありました。臨時職員の任期は、地方公務員法により最長でも1年とされるため、3月30日付で任期が切れ4月1日に再任用となることで、社会保険に空白の一日が生じ、社会保険の異動にともなう様々な不利益がありました。今年1月厚労省が、次の任用が明らかな場合、数日空いても被雇用資格を継続できるとしたため、県教委は2014年度から、これまで負担していなかった3月分の社会保険料事業者分を負担する方向です。

(6) 社保協キャラバン

今年の自治体訪問キャラバンは10月28日からで、三八各町村への訪問は10月30日と31日に行われました(八戸市は11月12日)。主な要求は、生活保護制度改悪反対、国保料(税)の引き下げと制度の改善、介護の充実の3点で、このことについての自治体の状況や考え方を聞き、また住民本位の制度改善をという私たちの考えを説明しながら懇談を行いました。各自治体からは国保・介護の担当者が出席、文書や口頭での回答がありました。

懇談では、田子町で新たに高齢者の肺炎球菌ワクチン助成が始まり三八7市町村中5市町での実施とな

ったこと、風疹ワクチン助成が全町村で進んでいることが分かりました。また、国保の広域化や道州制についての疑問が表明されるなど、地域を守る自治体の気概を感じました。生活保護制度については町村が直接には業務を担当していないこともあり、制度の改悪を許してはならないという私たちの訴えに、「回答・コメントを述べる立場にない」と紋切り型の発言を行った自治体があったことは残念です。新郷村では、須藤良美村長も出席して、地域を守るための村政を行っている村民を雇用しての事業や子どもの「お小遣い」給付、学校給食費の無料化等の施策を紹介しました。

(7) 自治体要望書

10月14日に検討会を開催し提出された要望事項を検討しました。前年度までの要望に関しての問い合わせや意見を求めた後、第4回幹事会(10/24)で案を確認し各組合に意見を求めました。情勢変化による手直し(高校授業料無償化廃止が強行されたので関連の要望削除)を行い、12月3日、八戸市に提出しました。

1月30日付けで自治体要望書への回答が届きました。高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種については、国レベルでの前進を反映した回答でした。薬局の無料低額診療助成については、「助成制度実施の可能性について検討してまいりたい」というすっきりしない回答でした。また、「原爆展がH26年度に開催される予定」との回答もありました。5月から7月まで南郷区で、主催は広島平和祈念資料館ということでした。

(8) 年金削減反対の取り組み

年金者組合三八支部は昨秋から今年にかけて、組合員の拡大や楽しみの活動、年金の2.5%削減に反対する行政不服審査請求提出運動など様々な取り組みを進めました。

年金者一揆は台風襲来の日、はっちで、年金者組合が中心となった実行委員会の主催によって行われ、2.5%削減に反対する取り組みが動き出しました。「参加は、無理をしないで」と主催者が伝えましたが、33人が参加しました。その後、支部委員会や行政不服審査請求を成功させる会等が取り組まれ、1月31日には組合員数を超える269件の請求書が八戸年金事務所に提出されました。この日は、八戸年金事務所管轄の上十三地域からも56件の申請が一緒に提出されました。年金者組合三八支部は、取り組みの中でつながりが広がったことや他団体からも大きな協力が得られたことなどを自信とし、今回の活動を年金削減反対・社会保障改悪反対の出発点として、いっそうの組織と運動の前進をめざしています。

年金・社会保障改悪に反対するたたかいは、若い世代にとっても重要です。10年、20年をかけて行われている改悪を阻止するためには、労働運動全体としての反撃体制が求められており、三八地労連としても学習しながら取り組まなければなりません。

(9) その他の活動

① 組織の問題

- ・通信労組八戸分会の継続が確認されました。
- ・青森銀行労働組合が2014年3月31日で解散することを決めました。

② 全労災署名

県医労連加盟の全労災青森支部から「厚労省・労働者健康福祉機構による不当労働行為事件の『全面救済命令』を求める署名」(団体署名)の協力要請がありました。地労連を含め17組合(全県では45組合)の署名を届けることができ、感謝されました。

③ 三八地労連初代議長の夏堀茂さんが逝去なさいました。地労連として葬儀に参列し、三八地労連 Web に夏堀さんの活動の記録(地労連関係)を掲載しました。

④ 三八地労連 Web のリフォームを行い、Web ニュースに目次をつけて読みやすくしました。また、地労連付に事務局を置く、八戸原水爆禁止の会となくせ！原発・核燃三八連絡会のページも設置しました。

⑤ 2014年旗びらきは45人の参加で盛況でした。

⑥ 都知事選では宇都宮健児支援の募金を、年金者組合三八支部の募金と一緒に東京労連に送金しました。

【2014年春闘方針】

1 改憲と新自由主義構造改革で暴走する安倍政権

① 安倍首相は、参議院選挙での自民党圧勝を受けてアクセルを踏み、10月に召集された第185回臨時国会では「暴走政治」で、悪法を次々に成立させた。主権者への説明責任を欠き、小選挙区制度の下でかすめとった国会内の多数を「国民からの白紙委任」と履き違え、国民の基本的人権を侵害する特定秘密保護法を12月6日の深夜に強行成立させたことや、沖縄県名護市辺野古沖への米軍基地建設で「基地の場所は政府が決める」と述べ、沖縄県民の総意を踏みにじった石破自民党幹事長の発言に安倍政権の危険な本質が示されている。

② 安倍首相は、内閣法制局長官を更迭し、首相の私的諮問機関である安保法制懇（安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会）での憲法解釈論議を加速させるなど、集团的自衛権行使を可能にするための動きを強めている。また、政府の「安全保障と防衛力に関する懇談会」では、海外での軍事力行使を活発化させることを軍事・外交の基本方針とする国家安全保障戦略の取りまとめを急ぎ、国家安全保障基本法案の通常国会提出がめざされている。

臨時国会では、特定秘密保護法と外交・安全保障の「司令塔」となり自衛官が主要な役割をはたす国家安全保障会議（日本版NSC）設置法を国会内の「数の力」で強引に成立させた。いずれも、アメリカとの集团的自衛権行使や自衛隊の「国防軍」化を前提とした法案であり、憲法9条の明文改憲を視野に入れていることは明白である。また、A級戦犯が合祀され、侵略戦争への反省を拒否する靖国神社に参拝したことへの国内外の批判に開き直す姿勢を示す安倍首相は、戦後の世界秩序への認識を著しく欠いている。

③ TPP参加の動きとも連動して、多国籍大企業の利益を最優先する新自由主義構造改革が強引に進められている。6月に政府が決定した成長戦略（日本再生戦略）の具体化として、労働者派遣での常用代替防止の緩和を求める報告書が出され、これをもとにした派遣法「改正」論議が12月に取りまとめられた。この労政審審議に対し、10月4日には規制改革会議が「日雇派遣の再解禁」などを求める意見を出し圧力をかけた。

臨時国会では、「解雇特区」「残業代ゼロ特区」など労働法制の規制改革の火種を残した国家戦略特区関連法や、「三つのゆがみ（過小投資、過剰規制、過当競争）」を是正するとの口実で企業リストラを加速させる産業競争力強化法がまともな審議もないままに強行成立された。

④ 社会保障「改革」とかかわって、年金給付額が10月1日から引き下げられた。さらに2014年4月からの高齢者医療費の自己負担の引き上げや、2015年度からの介護サービス自己負担増などを盛り込んだ介護制度改革法案や医療制度改革法案の2014年度通常国会への提出などの「改革プログラム法」が成立させられた。また、扶養義務の強化などを盛り込んだ生活保護法の改悪法案も成立が強行された。さらに、高校授業料無償化に所得制限を設けることも強行された。

消費税増税分の下請け単価引き下げなどが迫られ始めている中小零細企業との共同も含め、一部大企業と富裕層に富を集中させる「アベノミクス」の中止を求める国民的運動の強化は、春闘期の重要な課題である。

2 広がる「賃上げ、内需拡大がデフレ不況克服のカギ」との合意

① 安倍首相は、「企業収益、賃金、雇用の拡大をともなう好循環につなげられるかどうか」（アベノミクスの）勝負どころ」と述べている。経済財政諮問会議の民間議員も、デフレからの脱却には、持続的な貨幣量の増加、成長戦略の実行、賃金上昇の3つがポイントだとの提言を行った。これらの点からも明らかなように、安倍政権の「目玉の政策」である「アベノミクス」の成否が労働者賃金の改善にあることを認める状況にまで至った。2013年春闘時よりも踏み込んだ政治の動きは、「賃上げ、内需拡大こそデフレ不況克服のカギ」と訴え続けてきた取り組みの反映である。

- ② 11月15日の閣議で政府は、国家公務員の給与削減の特例措置を2013年度でとりやめることを決定した。その決定と同時に、8月に人事院が表明していた公務員賃金の地域間格差をさらに拡大させる制度改悪の早期実施を求めた。この閣議決定も受け、公務員賃金を民間のそれに準拠させるとする考え方をねじ曲げ、拡大傾向にある地域間の賃金格差を反映させる地場賃金準拠の立場での公務員賃金制度見直しを人事院が本格的に着手した。また、財務省は、教員給与について、「普通の公務員並み」にするため年収で1.7%引き下げを求める姿勢を示している。公務員賃金の社会的影響力や規範性に目を向け、地域の賃金相場が個別企業の賃金に影響することを確認し、地域からの大幅賃上げ、賃金底上げによる地域間格差の是正を求める共同の前進が改めて課題となっている。
- ③ 経団連集計で、2013年3月卒の大学事務系の初任給は前年比0.09%増と横ばいであり、90.3%の企業が前年のまますえ置いている。2009年以降、5年連続で9割前後の企業が初任給をすえ置いており、最低賃金引き上げなど賃金底上げが反映していない。毎月勤労統計調査では、2012年の平均月間総実労働時間は147.1時間で、所定内・外とも前年より増えている。労働時間は、リーマンショック後の2009年を除き、大きな変化はない。「週60時間以上勤務する労働者の割合」は2012年が9.1%で、2009年以降横ばいの状況にある。全教の調査では、2012年10月時点で、1ヶ月平均の残業時間は95時間に達し10年前より10時間増えていることが明らかになっている。
- 法令遵守を迫るたたかいも含めた要求前進をめざす取り組みが重要になっている。

【2014 年春闘の課題】

1 すべての労働者の賃金引き上げと雇用の安定を追求する

- (1) 「誰でも時給100円以上、月1万円以上」の底上げ要求を基本に、消費税増税の影響も加味した賃金引き上げの実現をめざす(全労連提起一時給120円以上、月額1万6000円以上)。
- (2) 最賃引き上げを求めて街頭宣伝・署名活動に取り組む(全労連提起一時給1000円、日額8000円、月額17万円)。
- (3) 同一労働同一賃金など差別のない職場の実現を求めて取り組む。改正労働契約法なども活用した非正規労働者の雇用安定をめざす職場の取り組みを強化する。
- (4) 公務員賃金の引き下げや地域間格差拡大の賃金制度改悪に反対し、地域から官民共同の取り組みを強める。
- (5) 次期通常国会に提出が想定される労働者派遣法大改悪阻止の共同を地域で広げ、たたかいの発展をめざす

2 すべての労働者に働きやすい職場を追求する

- (1) 「ブラック企業」の根絶、若者にまともな雇用を求めて取り組む。
- (2) 長時間労働の規制、サービス残業の全廃、年休の取得など、具体的な要求を地域課題として宣伝し、実現のための取り組みをすすめる。

3 地域と暮らし・安全を守る共同の取り組みを追求する

- (1) 地域経済と暮らしに深刻な被害を与えるTPP参加反対、消費税増税の中止を求める共同の取り組みを強める。3月11日開催の重税反対全国統一行動八戸集会の成功をめざす。
- (2) 年金再引き下げや介護保険改悪など社会保障改悪を許さない闘いを強める。
- (3) 特定秘密保護法の廃止の共同行動を地域で追求する。
- (4) 解釈改憲や立憲主義にそむく96条の改悪に反対し、はちのへ九条の会の活動に協力する。
- (5) なくせ！原発・核燃三八連絡会が行う「原発ゼロへ 全国いっせい行動 in 八戸」(3/8、はっちで開催)成功のために尽力する。3月9日のさようなら原発・核燃「3.11」青森集会に取り組む。

【日程等】

- 2/16(日) 地労連春闘勝利ボウリング大会、10:30 ゆりの木ボウル
2/22(土) 県・春闘勝利決起集会&デモ行進、13:00 県教育会館
2/26(水) 三八地労連評議員会、18:30 八戸市福祉公民館
3/ 8(土) 国際女性デー八戸集会、10:00 長者公民館
原発ゼロへ 全国いっせい行動 in 八戸、13:30 はっち
3/ 9(日) さようなら原発・核燃「3.11」青森集会、12:30 青森市文化会館
3/11(火) 3.13 重税反対全国統一行動八戸集会、13:00 八戸プラザホテル
3/12(水) 地域総行動・街宣、18:00三春屋前
3/13(木) ストップくらし破壊・全国一斉総行動
3/19(水) 地労連 2014 年春闘学習会、18:30 教組事務所
3/25(火) メーデー実行委員会、18:30 教組事務所・予定
4 月 最賃署名・宣伝
5/ 1(水) 第 85 回メーデー三八地区集会

第 2 号議案】2014 年度暫定予算（案）

2014 年度暫定予算について、下記のとおり執行することの承認を求める。

1. 執行期間 2014 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで
2. 執行額 2013 年度予算額の 4 分の 1 を限度とする。各科目についても 4 分の 1 とする。

【第 3 号議案】2014 年度役員定数について

役員選挙規則第 4 条の規定に基づき、2014 年度役員定数を下記のとおりとする承認を求める。

1. 副議長 2 名
2. 幹事 5 名
3. 会計監査 2 名

〈議長 1 名・事務局長 1 名・事務局次長 2 名は規約第 20 条で規定〉

【第 4 号議案】選挙管理委員の選出について

選挙管理委員を 3 名とし、役員選挙規則第 3 条第 1 項の規程に基づき、下記 3 名の選挙管理委員の選出を提案する。

(県教組) ・ (年金者組合) ・ (全医労)

【第 5 号議案】退職役員の資格について(規約の解釈または運用)

三八地方労働組合総連合規約

第 22 条（役員の任期・補充等）

- 1 役員の任期は、定期大会の翌日から次の定期大会の終了日までとし、再任を妨げない。
- 2 役員に欠員が生じた場合は、評議員会で出席評議員の直接無記名投票によってその補充を行うことができる。

三八地方労働組合総連合役員選挙規則

① 第 6 条（被選挙権の資格）

1. 役員に立候補する者は、所属組合の推薦を受けなければならない。
2. 所属組合を持たないで立候補する者は、幹事会の推薦を必要とする。

② 第 11 条（補欠選挙）

役員に欠員が生じたときは、評議員会において補欠選挙を行い、役員を選出する。選出された役員の任期は、残余の期間とする。

これまでの取り扱い

① 転勤の場合

1990 年、新潟事務局長の転勤(高教組三八支部から上北支部へ)→定期大会まで事務局長をつとめた。役員立候補については被選挙権資格なしと判断された。その後も、転勤については同様の取り扱いとしている。幹事会に出席できない場合は出身組合に代理の選出を要請している。

② 単組での任務変更の場合

代理(新しい担当)の出席で対応することが多い。

③ 退職の場合

東北ビル従組中山会計監査は、退職により所属組合を失ったので、その時点で失職とした(第 53 回評議員会議案・活動の報告に記載)。

当面する問題

- ・ 中道議長の退職(2014.3.31)
- ・ 山田副議長の所属組合の解散(2014.3.31)

対応案(規約解釈の提案)

- ① これまでの取り扱いとの整合性を考え、「所属組合を失った場合はその時点で役員を失職」とする。
- ② 他管への転勤については役員の継続を認めるが、(幹事会推薦以外は)被選挙権資格は認めない。
- ③ 推薦を受けた組合から異動した場合、役員としての身分には影響しない。また、新所属組合の判断を必要とはしない。